



Stella



大阪府教育センター附属高等学校 校長通信 No.4 令和7年7月発行

1 学期終業式を終えました。1 年生のみなさんは 100%新しい環境で、2、3 年生のみなさんは新しいクラスで過ごす 4 か月。緊張感の中で過ごした時間もあっただと思います。その中で、**頑張った自分に「よく頑張ったね」と声をかけてあげてください。**私からも、「お疲れさまでした。」

今日の終業式でお話したことを、少しでも「深掘り」したいと思います。「共感」は「相手の立場に立って、感情や考え方を理解し、自分ごととして感じる力」だとお話しました。英語ではこの力を「エンパシー（empathy）」という単語で表します。似たような単語に「シンパシー（sympathy）」があります。シンパシーの意味は「同情」。「共感」と「同情」…似ているようで、違う感情ですね。エンパシーは「相手の立場に立つ」ということがキーワードです。終業式でお話した言葉をもう一度使うと、まさにこれが「**誰かの靴を履いてみる**」（put yourself in someone's shoes）ということなのです。

言うことは簡単ですが、確かに、実際に行くことは難しいですね。わかります。誰にとっても、難しいことなんです。**まずは「相手の立場に立つ」ことを意識する。**そこから始めてみませんか。
※エンパシーとシンパシーのお話に興味を持った人は、『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』（ブレイディみかこ著）をぜひ読んでみてください。（探究図書館で借りられます。）

最後に「私の本棚」紹介です。テレビでおなじみの田村淳さんが書かれた本。サブタイトルの「**好きな人にだけに好かれるコミュニケーションの教科書**」に安心感をもらったような気がしました。こちらも、探究図書館で借りられます。



～ 私の本棚 ～

本と向き合った時間・記録はあなただけの大切な財産です。

1 冊 1 冊との出逢いを大切にしましょう。

冊数	出逢った日	本のタイトル	著者
4	6/5	超コミュカ	田村 淳
		感じたこと・考えたこと・覚えていたいこと	
		根底にあるのは、相手のことを大切に思う気持ちなんだと思う 本当のコミュカとは、話す力より聞く力	